



こまえをこまげる

こまごなNEWS

VOL.68
2023年10月号

発行：責任編集
狛江市岩戸北
3-18-8-701
分かりやすい
政治を伝える
維新の会

今号は
読み物
企画です。



KOMAE BAR STORY



KOMAE BAR STORY

「狛江の生まれだってね、俺もそうだ」

「中学は三中です。狛江浄水場の跡地で受け継いだ立派な校門があります」

「あそこには大きな貯水池があったってね。多摩川の伏流水と六郷用水を集めた綺麗な水でさ、その周りはたくさん薔薇が植えてあってそりゃ見事だった」

「薔薇ではないですが六郷用水を埋め立てた道路に桜並木を植えて六郷さくら通り、その先がいちよう通りになりましたね」

「そういや、三中のイチヨウもいいね。たしか銀杏がたくさんとれるよな」

「はい、生徒が集めて市民に販売してますよ」

「じゃあ、銀杏もらおうかな」

「生憎、その代わりうちでスモークしたナッツあります」

「オーケー、それに合うアイラ島のやつ、もらえる？」

話に夢中になっていたチヨイワルジジイは、でかい五段飾りの雞壇のような棚に並んでいるウイスキーを見て驚いた。見たこともないような洋酒の整列は壯観だ。

「アイラの次は何にしようかと棚の下端の方に目を向けるとジャパニーズウイスキーがずらっと並んでいる。」

「日本じゃスモーキーなやつなんか作ってないよな」

「そんなことはないんです。今や百か所に迫る数の蒸留所が日本にはあります。スモーキーないいやつも造ってますよ」

ロックで2杯楽しんだ後、ジジイは店内のあるものに目を奪われた。

「ハモンセラノの太ももは見ることがあるけど、あの細長いひしゃくのようなものは何なの？」

「これ、シェリーを注ぐ道具でベネンシアって言います。」

シェリーをもっと深く知りたいと思いついてベネンシアという資格もとったんですよ」

「じゃあ、その技を見たいな。シェリーってどういうところ造ってるの？」

「スペインの南西部、ヘレスというまちが有名です。他にサンルーカル、プエルトというまちもシェリーの生産地と言われていますね」

ジジイはスマホでヘレスを確かめた。ヘレスのそばには大きな港がある。祖父のことを思い出した。

1915年から2年、日本海軍15隻以上の軍艦を派遣し、ドイツのUボートと地中海で死闘を繰り返したのだ。祖父も出征した。

こんな第一次世界大戦と日本の関わりについて知っているやつはあまりいない。知っていても、青島(チンタオ)ビールくらいなものだ。

日本人は明治維新からの近代史にあまりにも無関心だ。近代史を知らずして現在の日本とこれからのことなんて語れないんだよ、議員さん！

「俺のおじいちゃんは地中海を走り回っていたんで、ヘレスの近くにも行ったはずだ。うまいシェリーを飲んだと思うよ」

マスターはベネンシアを振り回してシェリーを注ぐと

「そうなんです。こうやって注いだシェリーは幸運をもたらすんです。だから、おじい様たちはドイツに勝ったんですよ」

ジジイはシェリーを飲みながらハモンセラノをつまんだ。30か月の熟成だ。深い味わいと濃厚なコクを感じた。

そしてまたも意地悪な質問をした。

「狛江でも美味しいハム造ってたの知ってた？」

「なんとなく知ってるような。けっこう有名ですよ」

「捕虜になったドイツ人が500名も日本にやってきた。解放されたのちも日本に残った人がたくさんいたんだ。」

青島で捕虜になったヘルマンさんが狛江でハムやソーセージを造ってたんだよ。彼の仲間と同業のローマイアやバウムクーヘンのユーハイムがいる」

「へー、ドイツの捕虜が日本の食文化に貢献したんですね」

「そうよ。いちよう通りに面したとこに工場があつて出来そこないを安く売ってたんだ。ヘルマンさんのはほんとうにうまかったな。それでだなあ、彼が日本で初めて作ったもんがある」

「何ですか？」

「ホットドッグ。1934年にかのペーブルスたちがやってきて甲子園球場で試合をした。その時にヘルマンさんが日本で初めてホットドッグを作ったというわけよ」

「そうだったんですね。今じゃイケアでしか食べませんけど」

チヨイワルジジイはもう銀座に行かなくてもこの店があれば十分だと思った。

「この看板はフルーツカクテルだよな。今度女の子を連れてくるよ」

と言いつつ席を立って、吉田類のように次の暖簾をくぐった。

Author Akihiko Nishimura

【“議員さん”から一言】
狛江駅南口徒歩1分のバー・イチ。
「狛江にこんなバーがあったのか」と感動を覚えるほど素敵なバーです。お酒の知識も豊富なマスター(白井さん)との語りも楽しみのひとつ。秋の夜長はぜひ、狛江のバーライフと大人の会話を楽しんでください。

 BAR iCHI (バー・イチ)

営業時間
平日18:30 ~ 02:00 土・祝日は15:00~02:00
いずれも最終入店01:15 定休日は日曜日

